

2011年2月7日

会員各位

日本ファイナンス学会
「研究観望会」幹事 本多 俊毅

第19回研究観望会開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、日本ファイナンス学会第19回研究観望会を下記の要領により開催することといたしました。今回は「国際金融市場の依存構造における非対称性と長期トレンド」をテーマに、裏面要旨のとおり、たいへん興味深い報告がなされる予定ですので、ふるってご参加たまわりますようお願い申し上げます。ご出欠につき、同封の申込書（葉書/Fax）にて2月28日（月）までにご返事いただければ幸いです。ホームページからのお申込も可能ですのでご利用下さい(<http://www.nfa-net.jp>)。なお、参加者多数の場合には、先着順とさせていただきます。

また、研究観望会では、別紙要領のとおり、報告者を募集しております。自薦他薦ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。とりいそぎ、ご案内する次第です。

敬具

記

テーマ：「国際金融市場の依存構造における非対称性と長期トレンド」

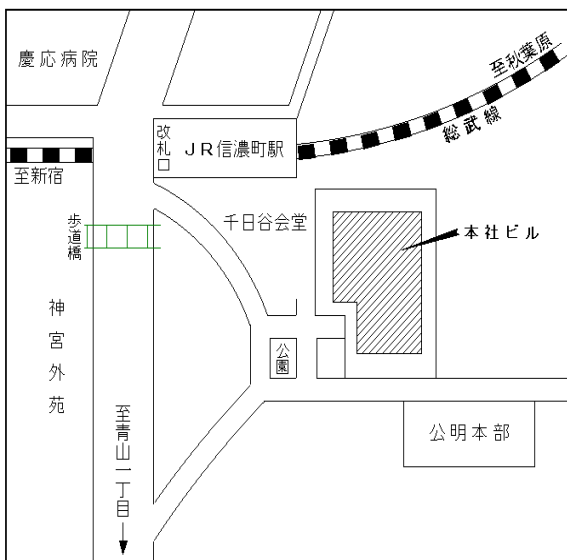
報告者： 沖本 竜義 氏（一橋大学大学院国際企業戦略研究科）

日時：2011年3月2日（水）午後6時30分より

会場：（社）金融財政事情研究会 2F第1会議室（下図参照）

東京都新宿区南元町19（〒160-8519）Tel：03(3354)2377

JR「信濃町」徒歩5分



研究観望会のお問合せ先：

幹事 本多 俊毅

（一橋大学国際企業戦略研究科准教授）

Tel：03(4212)3100

E-mail：thonda@ics.hit-u.ac.jp

申込先：日本ファイナンス学会事務局
（阿部・小林(奈)）

東京都新宿区南元町19（〒160-8519）

Tel：03(3354)2377

Fax：03(3359)7947

E-mail：honbu@nfa-net.jp

URL：http://www.nfa-net.jp

以上

日本ファイナンス学会
第19回研究観望会

「国際金融市場の依存構造における非対称性と長期トレンド」

一橋大学大学院国際企業戦略研究科
准教授 沖本 竜義

報告の概要：

国際金融市場の依存構造は国際分散投資やリスクマネジメントにおいて非常に重要な役割を果たすため、国際金融市場の依存構造を分析した研究が数多く存在する。そのなかで、本報告では国際金融市場の依存関係における非対称性と長期的なトレンドに焦点をおき、主要な実証分析結果とその手法を概観し、展望を行う。

国際株式市場の依存関係の非対称性に関しては、ベア市場とブル市場では、分散が高く期待収益率が低いベア市場のほうが、依存関係が高くなる傾向があることや、国際為替市場において、通貨がドルに対して減価するときに、依存関係が高くなる傾向にあることなどが先行研究によって報告されている。また、長期トレンドに関しては、国際株式市場において、依存関係が次第に強くなっている結果とそうでない結果が混在すること、国際債券市場では、長期債の依存関係が強くなる一方、短期債の依存関係には大きな変化が見られないことなどが報告されている。

これらの結果のほとんどは、高度な計量時系列モデルを基に示されたものである。そこで、本報告では、国際金融市場の依存構造の分析において重要な役割を果たしている多変量 GARCH モデル、平滑推移モデル、マルコフスイッチングモデルなどを紹介し、その特性や応用例などについて解説する。

また、依存関係のひとつの指標である相関係数の長所と短所を紹介し、依存構造の分析に非常に強力なツールとなり、さらに相関係数に代わる依存関係の指標を構築する際に基礎となるコピュラという概念について述べる。そして、コピュラ概念を時系列モデルに応用することによって、より一般的に柔軟な形で依存構造が分析できる可能性についても言及する。

日本ファイナンス学会「研究観望会」

報告者募集要領

研究観望会運営委員会

代表幹事 本多 俊毅

研究観望会は、世界のファイナンス研究の最新動向をテーマ別に展望するもので、各トピックに関する最新の成果をサーベイした報告を通じて、会員各位の知識・情報の整理に役立てるとともに、会員の研究活動の促進に寄与することを目的としたものです。この目的にそった報告者を下記要領にて募集いたしますので、ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。なお、報告内容については、幅広く、理論、方法論、実証研究、制度の現状と展望等々にいたるまで歓迎いたします。

とりわけ、若手研究者を歓迎し、研究奨励的な運営を企図しております。必要に応じた交通費、宿泊費を支給するとともに、報告に対する研究奨励金も支給いたします。

ご応募いただきますと、研究観望会運営委員会が合議のうえ諾否を決め、結果を応募者個人に直接お知らせいたします。

ご応募にあたっては、研究観望会の円滑な運営のため、以下の必要書類を各3部ご用意のうえ、日本ファイナンス学会事務局までお送りください。

- (1)報告論文のテーマと章建ての計画
- (2)各章各節の詳細な要旨
- (3)報告分野に関する参考文献表
- (4)報告者の略歴とこれまでの研究成果
- (5)報告分野と関連した報告者の論文等著作物がある場合は、そのコピー。

なお、完成論文がある場合は(1)~(3)に代替できます。

応募先／問合せ先

日本ファイナンス学会 研究観望会

Tel:03(3354)2377 Fax:03(3359)7947

E-mail:honbu@nfa-net.jp

〒160-8519 東京都新宿区南元町 19

(社)金融財政事情研究会 内